2021年3月期第2四半期
決算説明会

2020年11月12日
宝ホールディングス株式会社

本日の内容

Ⅰ．2021年3月期　第2四半期決算 および 2021年3月期 通期業績予想
（発表者：取締役　森　圭助）

1．2021年3月期　第2四半期決算
2．2021年3月期　通期業績予想

Ⅱ．2021年3月期　事業戦略
（発表者：代表取締役社長　木村　睦）

1．宝グループ連結
2．宝酒造（国内事業）
3．宝酒造インターナショナルグループ（海外事業）
4．タカラバイオグループ（バイオ事業）
5．企業価値向上に向けて

Ⅰ．2021年3月期　第2四半期決算
および 2021年3月期 通期業績予想

1．2021年3月期第2四半期決算

2021年3月期　第2四半期（累計）宝ホールディングス（連結）業績

第2四半期累計期間　連結損益計算書（売上高～営業利益）

（百万円）

	2021年3月期 第2四半期実績	前期比 増減	前期比 率(%)	8/4予想比 増減	8/4予想比 率(%)	為替レート影響額 前期比
宝酒造	**74,164**	▲ 970	▲ 1.3	▲ 263	▲ 0.4	–
宝酒造インターナショナルグループ	**31,286**	▲ 9,191	▲ 22.7	4,931	+18.7	▲ 957
タカラバイオグループ	**17,393**	942	+5.7	522	+3.1	▲ 393
その他	**14,186**	▲ 1,584	▲ 10.0	▲ 702	▲ 4.7	–
調整額	**▲ 9,246**	1,085	–	790	–	3
売上高	**127,784**	▲ 9,718	▲ 7.1	5,280	+4.3	▲ 1,348
売上原価	**76,361**	▲ 8,107	▲ 9.6	2,443	+3.3	
売上総利益	**51,422**	▲ 1,611	▲ 3.0	2,836	+5.8	
運送費	**5,248**	41	+0.8	302	+6.1	
広告宣伝費	**992**	39	+4.2	▲ 1	▲ 0.2	
販売促進費	**16,885**	▲ 126	▲ 0.7	▲ 175	▲ 1.0	
研究開発費	**2,579**	521	+25.4	▲ 133	▲ 4.9	
管理費、その他	**19,935**	▲ 247	▲ 1.2	▲ 753	▲ 3.6	
販売費及び一般管理費	**45,639**	229	+0.5	▲ 765	▲ 1.6	
宝酒造	**1,626**	▲ 455	▲ 21.9	672	+70.5	
宝酒造インターナショナルグループ	**▲ 396**	▲ 1,961	–	1,555	–	
タカラバイオグループ	**3,736**	701	+23.1	1,236	+49.5	
その他	**847**	▲ 234	▲ 21.6	24	+3.0	
調整額	**▲ 31**	109	–	112	–	
営業利益	**5,782**	▲ 1,840	▲ 24.1	3,602	+165.3	

2021年3月期　第2四半期（累計）宝ホールディングス（連結）業績

第2四半期累計期間　連結損益計算書（営業利益～四半期純利益）

（百万円）

	2021年3月期 第2四半期実績	前期比 増減	前期比 率(%)	8/4予想比 増減	8/4予想比 率(%)
営業利益	5,782	▲ 1,840	▲ 24.1	3,602	+165.3
受取利息・配当金	370	▲ 101	▲ 21.5	70	+23.5
その他営業外収益	261	▲ 125	▲ 32.4	84	+48.0
営業外収益	632	▲ 227	▲ 26.4	154	+32.3
支払利息	176	▲ 27	▲ 13.5	▲ 23	▲ 11.9
その他営業外費用	298	▲ 109	▲ 26.8	105	+54.8
営業外費用	474	▲ 137	▲ 22.4	81	+20.9
経常利益	5,940	▲ 1,931	▲ 24.5	3,675	+162.3
特別利益	3	▲ 37	▲ 92.2	3	–
特別損失	617	325	+111.9	109	+21.5
税金等調整前四半期純利益	5,326	▲ 2,294	▲ 30.1	3,570	+203.3
法人税、住民税及び事業税	2,087	▲ 201	▲ 8.8	1,068	+128.7
法人税等調整額	▲ 189	▲ 235	–		
四半期純利益	3,428	▲ 1,857	▲ 35.1	2,502	+270.2
非支配株主に帰属する四半期純利益	666	▲ 244	▲ 26.9	500	+301.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,761	▲ 1,612	▲ 36.9	2,001	+263.4

2021年3月期　第2四半期（累計）宝ホールディングス（連結）業績

第2四半期末　連結貸借対照表

（百万円）

	2020年3月末	2020年9月末	増減
流動資産	168,820	165,648	▲ 3,171
現金及び預金	47,265	51,518	4,253
受取手形及び売掛金	61,017	58,503	▲ 2,514
有価証券	7,352	732	▲ 6,620
たな卸資産	48,976	51,057	2,080
その他	4,207	3,837	▲ 370
固定資産	115,061	119,778	4,716
有形固定資産	69,835	74,094	4,258
無形固定資産	18,700	17,154	▲ 1,546
のれん	11,750	11,085	▲ 665
その他	6,950	6,069	▲ 880
投資その他資産	26,525	28,530	2,004
投資有価証券	21,720	23,621	1,900
その他	4,804	4,908	103
資産合計	283,882	285,427	1,545

	2020年3月末	2020年9月末	増減
流動負債	55,466	48,734	▲ 6,732
支払手形及び買掛金	16,440	14,554	▲ 1,885
借入金・社債	9,787	5,607	▲ 4,179
その他	29,238	28,572	▲ 666
固定負債	47,086	57,283	10,197
借入金・社債	25,448	35,507	10,059
その他	21,637	21,775	137
負債合計	102,553	106,017	3,464
株主資本合計	142,563	141,370	▲ 1,192
資本金・資本剰余金	15,680	15,680	–
利益剰余金	128,564	127,372	▲ 1,192
自己株式	▲ 1,682	▲ 1,682	▲ 0
その他包括利益累計額	5,199	4,685	▲ 513
非支配株主持分	33,566	33,353	▲ 213
純資産合計	181,329	179,409	▲ 1,919

第2四半期累計期間　設備投資額、減価償却費、のれん償却費

	2021年3月期 第2四半期実績	前期比 増減	前期比 率(%)	8/4予想比 増減	8/4予想比 率(%)
設備投資額（有形・無形）	8,448	+27	+0.3		
減価償却費（有形・無形）	3,997	+632	+18.8	+156	+4.1
のれん償却費	432	+8	+2.0	+12	+3.0

2021年3月期　第2四半期（累計）宝ホールディングス（連結）業績

第2四半期累計期間　連結キャッシュフロー計算書

（百万円）

	2020年3月期 第2四半期実績	2021年3月期 第2四半期実績	増減
営業キャッシュ・フロー	▲ 345	**6,081**	6,427
税金等調整前四半期純利益	7,620	**5,326**	▲ 2,294
減価償却費等	3,789	**4,796**	1,006
運転資本の増減	▲ 7,435	**▲ 3,918**	3,517
法人税等の支払額	▲ 2,918	**▲ 2,406**	512
その他	▲ 1,400	**2,283**	3,684
投資キャッシュ・フロー	▲ 1,922	**▲ 3,102**	▲ 1,180
有形・無形固定資産の取得	▲ 4,830	**▲ 8,821**	▲ 3,991
その他	2,907	**5,718**	2,810
フリー・キャッシュフロー	▲ 2,267	**2,978**	5,246
財務キャッシュ・フロー	▲ 9,214	**1,202**	10,417
有利子負債の増減	▲ 5,116	**5,874**	10,990
自己株式の取得による支出	▲ 0	**▲ 0**	▲ 0
配当金の支払額	▲ 3,920	**▲ 4,336**	▲ 415
その他	▲ 178	**▲ 335**	▲ 157
現金及び現金同等物為替換算差額	▲ 773	**▲ 471**	301
現金及び現金同等物増減	▲ 12,256	**3,709**	15,965
現金及び現金同等物期首残高	48,580	**44,541**	▲ 4,039
現金及び現金同等物期末残高	36,324	**48,250**	11,926

2021年3月期　第2四半期（累計）宝酒造　業績

第2四半期累計期間　損益計算書（売上高～営業利益）

（百万円）

	2021年3月期 第2四半期実績	前期比 増減	前期比 率(%)	8/4予想比 増減	8/4予想比 率(%)
焼酎	**24,284**	▲ 691	▲ 2.8	165	+0.7
清酒	**6,792**	▲ 1,510	▲ 18.2	▲ 357	▲ 5.0
ソフトアルコール飲料	**24,024**	2,215	+10.2	▲ 32	▲ 0.1
その他酒類	**2,684**	▲ 511	▲ 16.0	▲ 69	▲ 2.5
本みりん	**6,288**	▲ 908	▲ 12.6	▲ 220	▲ 3.4
その他調味料	**4,976**	▲ 163	▲ 3.2	▲ 87	▲ 1.7
原料用アルコール等	**5,114**	599	+13.3	339	+7.1
売上高	**74,164**	▲ 970	▲ 1.3	▲ 263	▲ 0.4
売上原価	**45,183**	▲ 402	▲ 0.9	▲ 527	▲ 1.2
売上総利益	**28,981**	▲ 567	▲ 1.9	264	+0.9
運送費	**4,013**	50	+1.3	30	+0.8
広告宣伝費	**924**	48	+5.6	▲ 6	▲ 0.7
販売促進費	**16,429**	▲ 1	▲ 0.0	▲ 261	▲ 1.6
研究開発費	**172**	▲ 23	▲ 12.1	▲ 69	▲ 28.9
管理費、その他	**5,815**	▲ 186	▲ 3.1	▲ 100	▲ 1.7
販売費及び一般管理費	**27,355**	▲ 111	▲ 0.4	▲ 407	▲ 1.5
営業利益	**1,626**	▲ 455	▲ 21.9	672	+70.5

第2四半期累計期間　売上総利益増減　内訳

※利益の増加要因を「+」、減少要因を「△」で表示

		前期比増減	数量差	単価差	8/4予想比増減	数量差	単価差
売上総利益　計		▲ 567	+18	▲ 586	+264	▲ 179	+444
主な内訳	焼酎	▲ 175	▲ 295	+119	+186	+139	+47
	清酒	▲ 686	▲ 580	▲ 105	▲ 66	▲ 105	+38
	ソフトアルコール飲料	+909	+1,608	▲ 698	+61	▲ 5	+66
	本みりん	▲ 609	▲ 504	▲ 105	▲ 77	▲ 137	+60
	（参考）原価コストダウン	+240	※上記数量差および単価差に含む		+512	※上記数量差および単価差に含む	

（注）2020年8月4日時点で公表した第2四半期累計期間の業績予想において、宝酒造および宝酒造インターナショナルグループは2020年5月14日発表予想を据え置いております。

2021年3月期　第2四半期（累計）宝酒造インターナショナルグループ　業績

第2四半期累計期間　損益計算書（売上高～営業利益）

（百万円）

	2021年3月期 第2四半期実績	前期比 増減	前期比 率(%)	8/4予想比 増減	8/4予想比 率(%)	為替レート影響額 前期比	為替レート影響額 8/4予想比
海外酒類	**4,675**	▲ 757	▲ 13.9	664	+16.6	▲ 117	102
海外日本食材卸	**27,134**	▲ 8,963	▲ 24.8	3,961	+17.1	▲ 848	457
その他	**35**	▲ 143	▲ 80.1	▲ 8	▲ 18.7	–	–
連結消去	**▲ 559**	673	–	313	–	8	▲ 12
売上高	**31,286**	▲ 9,191	▲ 22.7	4,931	+18.7	▲ 957	547
売上原価	**22,140**	▲ 6,853	▲ 23.6	3,633	+19.6		
売上総利益	**9,145**	▲ 2,338	▲ 20.4	1,297	+16.5		
運送費	**1,011**	▲ 191	▲ 15.9	156	+18.3		
広告宣伝費	**33**	▲ 7	▲ 18.0	▲ 7	▲ 18.0		
販売促進費	**223**	▲ 111	▲ 33.3	▲ 54	▲ 19.7		
管理費、その他	**8,273**	▲ 65	▲ 0.8	▲ 352	▲ 4.1		
販売費及び一般管理費	**9,541**	▲ 376	▲ 3.8	▲ 258	▲ 2.6		
海外酒類	**896**	▲ 86	▲ 8.8	388	+76.5		
海外日本食材卸	**▲ 531**	▲ 1,898	–	1,096	–		
その他	**▲ 537**	▲ 172	–	25	–		
連結消去	**▲ 224**	195	–	44	–		
営業利益	**▲ 396**	▲ 1,961	–	1,555	–		

（注）2020年8月4日時点で公表した第2四半期累計期間の業績予想において、宝酒造および宝酒造インターナショナルグループは2020年5月14日発表予想を据え置いております。

Ⅰ．2021年3月期　第2四半期決算 および 2021年3月期 通期業績予想

2．2021年3月期 通期業績予想

2021年3月期　宝ホールディングス　通期　連結業績予想

通期予想　連結損益計算書（売上高～当期純利益）

（百万円）

	2021年3月期 通期予想	前期比 増減	前期比 率(%)	8/4予想比 増減	8/4予想比 率(%)	為替レート影響額 前期比
宝酒造	154,502	1,360	+0.9	▲ 655	▲ 0.4	–
宝酒造インターナショナルグループ	68,374	▲ 14,391	▲ 17.4	▲ 2,156	▲ 3.1	▲ 1,136
タカラバイオグループ	40,800	6,234	+18.0	1,200	+3.0	▲ 542
その他	29,392	▲ 2,409	▲ 7.6	▲ 2,324	▲ 7.3	–
調整額	▲ 19,068	2,014	–	2,135	–	5
売上高	274,000	▲ 7,191	▲ 2.6	▲ 1,800	▲ 0.7	▲ 1,673
売上原価	164,700	▲ 7,874	▲ 4.6	▲ 2,224	▲ 1.3	
売上総利益	109,300	682	+0.6	425	+0.4	
運送費	11,100	99	+0.9	▲ 76	▲ 0.7	
広告宣伝費	2,100	48	+2.4	7	+0.3	
販売促進費	35,000	▲ 73	▲ 0.2	1	+0.0	
研究開発費	5,600	1,340	+31.5	▲ 6	▲ 0.1	
管理費、その他	41,700	1,304	+3.2	▲ 1,301	▲ 3.0	
販売費及び一般管理費	95,500	2,718	+2.9	▲ 1,375	▲ 1.4	
宝酒造	4,700	524	+12.6	415	+9.7	
宝酒造インターナショナルグループ	252	▲ 3,280	▲ 92.9	107	+73.8	
タカラバイオグループ	8,000	1,725	+27.5	1,500	+23.1	
その他	1,654	▲ 364	▲ 18.1	▲ 314	▲ 16.0	
調整額	▲ 806	▲ 641	–	92	–	
営業利益	13,800	▲ 2,036	▲ 12.9	1,800	+15.0	
経常利益	14,000	▲ 2,269	▲ 13.9	1,800	+14.8	
親会社株主に帰属する当期純利益	7,100	▲ 1,880	▲ 20.9	1,148	+19.3	

2021年3月期　宝酒造　業績予想

通期予想　損益計算書（売上高～営業利益）

（百万円）

	2021年3月期 通期予想	前期比 増減	前期比 率(%)	8/4予想比 増減	8/4予想比 率(%)
焼酎	49,269	▲ 459	▲ 0.9	1,706	+3.6
清酒	17,172	▲ 3,316	▲ 16.2	▲ 1,875	▲ 9.8
ソフトアルコール飲料	47,800	4,776	+11.1	▲ 667	▲ 1.4
その他酒類	5,747	▲ 658	▲ 10.3	▲ 78	▲ 1.3
本みりん	13,994	13	+0.1	▲ 114	▲ 0.8
その他調味料	10,737	406	+3.9	171	+1.6
原料用アルコール等	9,783	599	+6.5	202	+2.1
売上高	154,502	1,360	+0.9	▲ 655	▲ 0.4
売上原価	93,465	642	+0.7	▲ 606	▲ 0.6
売上総利益	61,037	718	+1.2	▲ 49	▲ 0.1
運送費	8,437	294	+3.6	▲ 62	▲ 0.7
広告宣伝費	2,043	160	+8.5	72	+3.7
販売促進費	33,791	▲ 53	▲ 0.2	▲ 145	▲ 0.4
研究開発費	404	21	+5.5	▲ 82	▲ 16.9
管理費、その他	11,662	▲ 228	▲ 1.9	▲ 247	▲ 2.1
販売費及び一般管理費	56,337	194	+0.3	▲ 464	▲ 0.8
営業利益	4,700	524	+12.6	415	+9.7

売上総利益増減　内訳

※利益の増加要因を「+」、減少要因を「△」で表示

	前期比増減	前期比増減 （参考）原価コストダウン	8/4予想比増減	8/4予想比増減 （参考）原価コストダウン
売上総利益　計	+718	+226	▲49	+506

（注）2020年8月4日時点で公表した通期の業績予想において、宝酒造および宝酒造インターナショナルグループは2020年5月14日発表予想を据え置いております。

2021年3月期　宝酒造インターナショナルグループ　業績予想

通期予想　損益計算書（売上高～営業利益）

（百万円）

	2021年3月期 通期予想	前期比 増減	前期比 率(%)	8/4予想比 増減	8/4予想比 率(%)	為替レート影響額 前期比	為替レート影響額 8/4予想比
海外酒類	9,860	▲ 1,505	▲ 13.2	▲ 97	▲ 1.0	▲ 212	121
海外日本食材卸	59,917	▲ 13,454	▲ 18.3	▲ 2,629	▲ 4.2	▲ 949	1,027
その他	56	▲ 148	▲ 72.7	▲ 12	▲ 17.6	–	–
連結消去	▲ 1,459	716	–	582	–	25	▲ 21
売上高	68,374	▲ 14,391	▲ 17.4	▲ 2,156	▲ 3.1	▲ 1,136	1,127
売上原価	48,328	▲ 10,554	▲ 17.9	▲ 916	▲ 1.9		
売上総利益	20,046	▲ 3,837	▲ 16.1	▲ 1,240	▲ 5.8		
運送費	2,219	▲ 437	▲ 16.5	▲ 128	▲ 5.5		
広告宣伝費	82	▲ 2	▲ 2.8	▲ 10	▲ 10.9		
販売促進費	597	▲ 159	▲ 21.1	▲ 134	▲ 18.3		
管理費、その他	16,896	41	+0.2	▲ 1,075	▲ 6.0		
販売費及び一般管理費	19,794	▲ 557	▲ 2.7	▲ 1,347	▲ 6.4		
海外酒類	1,956	▲ 383	▲ 16.4	172	+9.6		
海外日本食材卸	▲ 161	▲ 2,896	–	▲ 182	–		
その他	▲ 1,070	▲ 216	–	95	–		
連結消去	▲ 473	216	–	22	–		
営業利益	252	▲ 3,280	▲ 92.9	107	+73.8		

（注）2020年8月4日時点で公表した通期の業績予想において、宝酒造および宝酒造インターナショナルグループは2020年5月14日発表予想を据え置いております。

Ⅱ．2021年3月期　事業戦略

１．宝グループ連結

※資料内に記載の「前回予想」とは、2020年8月4日発表予想を指します。

2021年3月期上期概況と通期予想

2021年3月期上期　概況

- 宝グループ連結の売上高は、宝酒造の家庭用製品の伸長やタカラバイオグループのPCR検査関連製品の販売が増加するも、新型コロナウイルス感染症の影響による海外での飲食店需要の減少や、昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動もあり、対前期で減収。
- 営業利益は、タカラバイオグループが対前期で増益となるも、宝酒造、宝酒造インターナショナルグループの減収による売上総利益減少の影響が大きく、グループ全体で減益。
- 前回予想に対しては、新型コロナウイルス感染症による影響が上期において想定したほど大きくならなかったことに加え、各セグメントともコロナ禍での販売拡大に努めたことで、売上高・営業利益ともに上回る。

2021年3月期通期　予想

- 売上高は、宝酒造の家庭用製品の伸長やタカラバイオグループのPCR検査関連製品の需要は持続するものの、主に宝酒造インターナショナルグループで新型コロナウイルス感染症の長期化の影響が見込まれることから、グループ全体では前回予想を下回る見通し。
- 営業利益は、各セグメントで販売費及び一般管理費の抑制に努めることに加え、タカラバイオグループで売上原価率が大きく改善することも寄与し、前回予想を上回る見通し。

Ⅱ．2021年3月期　事業戦略

2．宝酒造（国内事業）

2021年3月期上期概況と通期予想（宝酒造）

2021年3月期上期　概況

- 売上高は、前期に対しては、巣ごもり需要の拡大により、ソフトアルコール飲料（RTD）や甲類焼酎が好調に推移し、消毒用途としての需要増で原料用アルコール等も伸長するが、外食需要の低迷に加えて昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動や、本年10月の清酒減税を前にした清酒の買い控えにより、全体では減収。
- 営業利益は、売上高の減少に加え、原材料のコストアップや減価償却費の増加により減益。
- 前回予想に対しては、売上高はほぼ計画通りの水準となり、原材料コストや販売費及び一般管理費の抑制に努めたことで、営業利益は上回る。

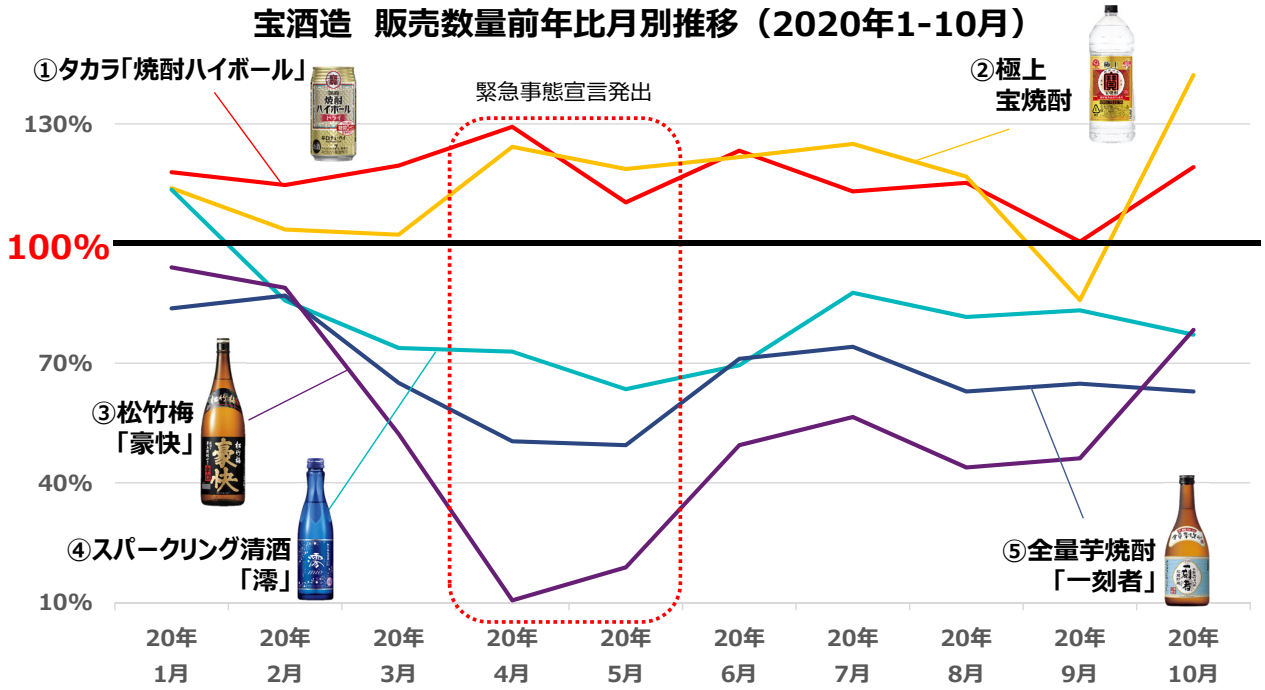
2021年3月期通期　予想

- 売上高は、前期に対して、業務用製品の落ち込みが続くと想定するも、下期でソフトアルコール飲料および本みりんなどが増収となり、通期では全体で増収の計画。前回予想に対しては若干下回る見込み。
- 営業利益は、粗留アルコール等の原材料のコストダウンと営業活動の効率化による販売費及び一般管理費の抑制に引き続き努めることで、前期および前回予想をともに上回る見込み。

宝酒造　家庭用・業務用製品月別販売推移

家庭用比率が高い製品（①②）は、巣ごもり需要拡大により４月の緊急事態宣言以降も好調に推移。一方、業務用比率が相対的に高い製品（③④⑤）は、４-５月を底に回復の兆しは見えるものの、依然として厳しい状況が続く。

宝酒造　販売数量前年比月別推移（2020年1-10月）



事業戦略

①和酒No.1企業としての強みを活かした、利益創出型の企業体質への進化

タカラ「焼酎ハイボール」の高付加価値品、寶「極上レモンサワー」ブランド、「澪」ブランドの育成等を通じ、各カテゴリーでの商品ミックスの改善による収益性向上に努める。

タカラ「焼酎ハイボール」
＜立石 宇ち多゛（うちだ）のうめ割り風＞

寶「極上レモンサワー」

「澪」・「一果」

②お客様のニーズを捉え、利益の視点を高めた商品開発・育成の推進

当期より事業本部制を廃止し、技術部門と商品企画・育成部門が一体となった組織へ再編することで、市場や顧客ニーズの変化への対応力を向上させる。

＜～2020年3月＞

技術部門
○技術供給本部

商品企画・育成部門
○酒類事業本部
○調味料・酒精事業本部

→

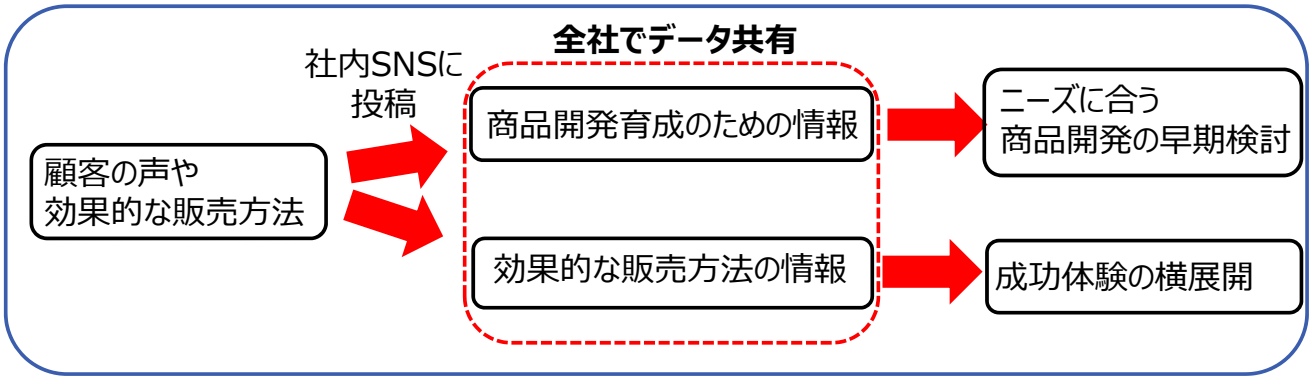
＜2020年4月～＞

商品開発・育成部門

事業戦略

③お客様の需要を喚起する効率的な育成策の継続によるブランド価値の向上

社内SNSを活用した顧客ニーズや効果的な販売方法のリアルタイムなデータ共有により、スピード感を持った開発・育成策を実施する



④全体最適視点でのコスト削減の推進

当期より、本社にコスト削減のための専門部署を立ち上げ、今後も想定されるコストアップへの全社一体となった対応力強化を図る。

Ⅱ．2021年3月期　事業戦略

３．宝酒造インターナショナルグループ（海外事業）

2021年3月期上期概況と通期予想（宝酒造インターナショナルグループ）

2021年3月期上期　概況

- 新型コロナウイルス感染拡大による世界各地でのロックダウン等により、主要な顧客である飲食店を中心に需要が減少するなど、海外事業全体に大きな影響。
- 海外酒類事業は、飲食店向けの清酒等の落ち込みにより対前期では減収減益となるも、ウイスキー２社が堅調に推移し、前回予想に対しては売上・利益ともに上回る。
- 海外日本食材卸事業は、飲食店向けの販売構成が高く、新型コロナウイルス感染症による影響を特に大きく受けたが、上期においては想定したほど大きくならなかったことや、小売店など家庭向けへの販路開拓に努めたこともあり、売上・利益ともに前回予想を上回った。

2021年3月期通期　予想

- 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、売上高は前期を大きく下回り、下期での正常化を前提としていた前回予想に対しても未達となる見通し。
- 海外酒類事業はウイスキー2社の牽引により比較的堅調な推移を見込むが、海外日本食材卸事業の落ち込みが続くものと予想。
- 利益面では、前期に対しては大幅な減益となるものの、販売費及び一般管理費の抑制等により、海外事業全体の営業利益は前回予想を上回る見通し。

事業概況＜海外酒類事業＞

（現地通貨ベース）		21/03期 第2四半期 実績	前期比 増減	前期比 率(%)	前回予想比 増減	前回予想比 率(%)	21/03期 通期予想	前期比 増減	前期比 率(%)	前回予想比 増減	前回予想比 率(%)
米国宝酒造	売上高	12,409	▲ 5,635	▲ 31.2	＋198	＋1.6	27,575	▲ 8,116	▲ 22.7	▲ 2,930	▲ 9.6
（千US ドル）	営業利益	▲ 504	▲ 2,245	―	＋77	―	720	▲ 3,177	▲ 81.5	▲ 905	▲ 55.7
宝酒造食品	売上高	17,380	▲ 7,583	▲ 30.4	▲ 315	▲ 1.8	41,703	▲ 15,555	▲ 27.2	▲ 9,662	▲ 18.8
（千元）	営業利益	▲ 466	▲ 1,693	―	▲ 65	―	371	▲ 4,496	▲ 92.4	▲ 2,854	▲ 88.5
トマーチン	売上高	8,707	▲ 71	▲ 0.8	＋2,060	＋31.0	18,702	▲ 1,075	▲ 5.4	＋844	＋4.7
（千ポンド）	営業利益	2,290	＋401	＋21.2	＋1,254	＋121.0	5,128	＋37	＋0.7	＋707	＋16.0
エイジ・インターナショナル	売上高	14,435	＋2,405	＋20.0	＋2,924	＋25.4	29,129	＋2,139	＋7.9	＋3,021	＋11.6
（千US ドル）	営業利益	6,604	＋1,278	＋24.0	＋1,606	＋32.2	12,998	＋952	＋7.9	＋1,722	＋15.3

〈米国宝酒造〉 主力である飲食店向けの需要減少と工場稼働率の低下による原価率上昇等により、売上・利益ともに前期を下回って推移。上期は小売店向けを注力したことにより計画は上回るも、通期では計画未達となる見通し。

〈宝酒造食品〉 量販店ルートへの拡売を進めるも、飲食店向けの中国産清酒の減少が大きく、売上高は計画未達となる見通し。利益面でも、収益性の高い中国産清酒の落ち込みにより計画未達に。

〈トマーチン〉 売上高は、米国向けボトル製品の販売減少等により前期を下回るものの、バルク製品の拡売等により計画は上回る。利益面では、販売費及び一般管理費の抑制も奏功し、上期に引き続き通期でも計画を上回る見通し。

〈エイジ・インターナショナル〉 小売店向けが中心の米国での販売が伸長し、上期は前期・計画ともに大きく上回って推移。販売費及び一般管理費のコントロールにも努めることで、通期でも増収増益を目指す。

事業概況＜海外日本食材卸事業①＞

（現地通貨ベース）		21/03期 第2四半期 実績	前期比 増減	前期比 率(%)	前回予想比 増減	前回予想比 率(%)	21/03期 通期予想	前期比 増減	前期比 率(%)	前回予想比 増減	前回予想比 率(%)
フーデックスグループ	売上高	68,503	▲ 18,091	▲ 20.9	＋16,437	＋31.6	158,282	▲ 21,531	▲ 12.0	＋4,992	＋3.3
（千ユーロ）	営業利益	3,252	▲ 4,599	▲ 58.6	＋5,621	―	9,405	▲ 6,691	▲ 41.6	＋3,605	＋62.2
タザキフーズ	売上高	18,748	▲ 3,186	▲ 14.5	＋2,232	＋13.5	42,000	▲ 4,099	▲ 8.9	＋538	＋1.3
（千ポンド）	営業利益	230	▲ 675	▲ 74.5	＋637	―	1,399	▲ 256	▲ 15.5	＋670	＋92.0

〈フーデックスグループ〉 主力の飲食店向け販売は低調に推移したものの、当初の想定までは減少せず、また販売費及び一般管理費の抑制にも努めた結果、売上・利益ともに上期は計画を上回る。通期においても、既存顧客との関係維持・強化やテイクアウト・デリバリーの新規開拓により、売上・利益計画の達成を目指す。

〈タザキフーズ〉 飲食店向けは減少したものの、ロックダウンに伴う巣ごもり需要を受けた量販店やネット通販等の小売向け販売が伸長。販売費及び一般管理費の抑制にも努め、通期の売上・利益はともに計画を上回る見通し。

事業概況＜海外日本食材卸事業②＞

（現地通貨ベース）		21/03期 第2四半期実績	前期比		前回予想比		21/03期 通期予想	前期比		前回予想比	
			増減	率(%)	増減	率(%)		増減	率(%)	増減	率(%)
ミューチャルトレーディング	売上高	**132,081**	▲ 50,287	▲ 27.6	＋10,221	＋8.4	**282,695**	▲ 86,517	▲ 23.4	▲ 38,669	▲ 12.0
（千US ドル）	営業利益	**▲ 8,906**	▲ 12,403	―	＋2,900	―	**▲ 16,970**	▲ 23,195	―	▲ 7,619	―
ニッポンフード	売上高	**23,580**	▲ 3,895	▲ 14.2	＋2,694	＋12.9	**50,069**	▲ 7,111	▲ 12.4	▲ 1,723	▲ 3.3
（千AUS ドル）	営業利益	**119**	＋1,699	―	＋1,931	―	**1,254**	＋3,617	―	＋2,820	―
東京共同貿易	売上高	**2,321**			▲ 677	▲ 22.6	**6,577**			▲ 1,677	▲ 20.3
（千円）	営業利益	**37**			▲ 39	▲ 51.0	**227**			▲ 98	▲ 30.1

〈ミューチャルトレーディング〉 主力の飲食店向け販売が大きく減少する中、テイクアウト需要への取り組み等により上期の売上高は計画を上回るも、通期では計画未達に。利益面では、収益性の高い酒類の販売減少による利益率の低下等もあり、通期で営業赤字を見込む。

〈ニッポンフード〉 都市部の飲食店での落ち込みを、郊外や小売向け販売の強化で補い、上期では売上・利益ともに計画を上回る。通期では、売上高は計画未達となるものの、値上げの浸透による利益率向上や為替変動による仕入コスト低減、販売費及び一般管理費の抑制等により利益面では計画を上回る見通し。

〈東京共同貿易〉 米国向けで飲食店比率の高い日本産の地酒やラーメン商材等の不振が続いており、上期に続いて通期でも、売上高・営業利益ともに計画未達となる見通し。

※東京共同貿易は2020年3月期中より連結対象となったため、前期対比は非表示

事業戦略

フーデックスグループ限定 日本酒ブランドを開発

商品名	「L'ATELIER DU SAKE」＜大吟醸＞（直訳「お酒の研究所」）
ターゲット	日本酒エントリー層や日本酒未体験の欧米人
販売地域	欧州
展開時期	2020年10月より輸出開始

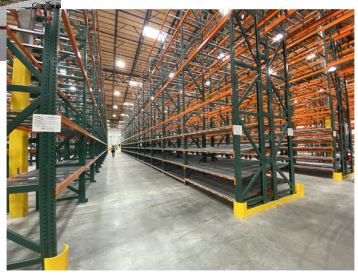
フーデックス 現地スタッフによる デザインとネーミング

×

宝酒造（白壁蔵）の 大吟醸酒質

ミューチャルトレーディング LA倉庫の拡張移転を完了

対象拠点	ロサンゼルス本社および倉庫
総面積	300千平方フィート（従来より60%超増床。保管容量は約3倍に）
目的	従来、近隣５箇所に分散していた倉庫を集約し、配送効率の向上を図る
稼働時期	2020年11月より使用開始



Ⅱ．2021年3月期　事業戦略

４．タカラバイオグループ
（バイオ事業）

2021年3月期上期概況と通期予想（タカラバイオグループ）

2021年3月期上期　概況

- 売上高は、前期に計上していた遺伝子治療に関する対価料収入等の減少により遺伝子医療が減収となり、また新型コロナウイルス感染拡大による世界各地での研究開発活動の停滞が主力の研究用試薬の販売に影響を及ぼしたものの、コロナ禍でのPCR検査関連製品の需要増やDNAワクチン関連製造受託の引き合いを受け、前期および8月に上方修正した会社計画をともに上回った。
- 利益面でも、売上構成の変化や生産稼働率の向上により売上原価率が改善し、売上総利益が大きく増加したことなどにより、前期・前回予想をともに大きく上回った。

2021年3月期通期　予想

- 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、一般の研究用試薬等の販売は伸び悩むものの、PCR検査関連製品やDNAワクチン関連製造受託を含む、さらなるCDMOサービスの需要増を織り込み、売上高は前回上方修正した予想をさらに上回る見通し。
- 利益面でも、売上高の増加と、売上構成の変化や生産稼働率の向上等による売上原価率の低下により、売上総利益が前回予想から大きく増加する見込みであり、販売費及び一般管理費は増加するものの、営業利益は前回予想を上回る見通し。

事業戦略

新型コロナウイルス感染拡大防止のための社会要請に対応

PCR検査試薬・装置の供給

- 迅速・簡便検査キットを体外診断用医薬品として販売開始

体外診断用医薬品
「Takara SARS-CoV-2ダイレクトPCR検出キット」
（2020年11月販売開始）

- 用途に応じたPCR装置の豊富なラインナップにより、検査需要増へ対応（注）

汎用型　ポータブル型　ハイスループット型

CDMO事業の拡大

- 新型コロナウイルスワクチン関連の製造受託
- 「遺伝子・細胞プロセッシングセンター2号棟」などの未実装エリアを追加整備（厚生労働省の補助金を活用）
- DNAワクチン関連を含む、再生医療等製品の製造キャパシティを拡大、要員も増加

遺伝子・細胞プロセッシングセンター２号棟
（2020年1月稼働）

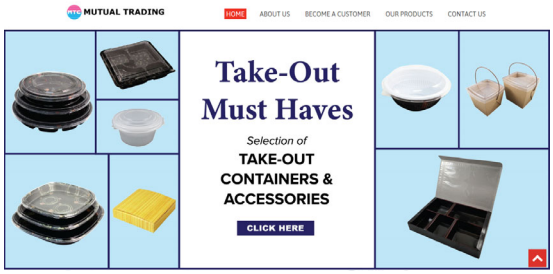
（注）左から, Thermal Cycler Dice® Real Time System Ⅲ, CronoSTAR™ 96 Real-Time PCR System（2020年6月発売）, SmartChip™ Real-Time PCR System（旧WaferGen社製品）, CronoSTAR™ Portable Real-Time PCR System（2020年1月発売）

Ⅱ．2021年3月期　事業戦略

５．企業価値向上に向けて

新型コロナウイルス感染拡大を受けた取り組み

国内事業	➢ 巣ごもり需要に対応した商品の開発 ➢ オンラインでのお酒の楽しみ方をSNSやWEBサイトで継続的に紹介 ➢ 消毒用途としての原料用アルコールの供給継続
海外事業	➢ スーパーなど小売店の販路拡大、ECサイトの開設 ➢ 小売向けアイテムの拡充（業務用中心の大容量 ⇒小容量への展開等） ➢ 飲食店のテイクアウト需要に対し、容器や箸などを含めたラインアップ強化
バイオ事業	➢ PCR検査関連製品の安定供給の継続 ➢ ワクチン開発等への協力



ニューノーマルにおける価値創造

＜ニューノーマル＞

- **消費行動や安全・健康意識の変化**
- **働き方の多様化など、様々な社会課題への対応**

＜宝グループの使命＞

- **企業理念に基づく事業活動の実践**
- **長期経営構想に掲げるVisionの実現**

企業理念

自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて
人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します

長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」

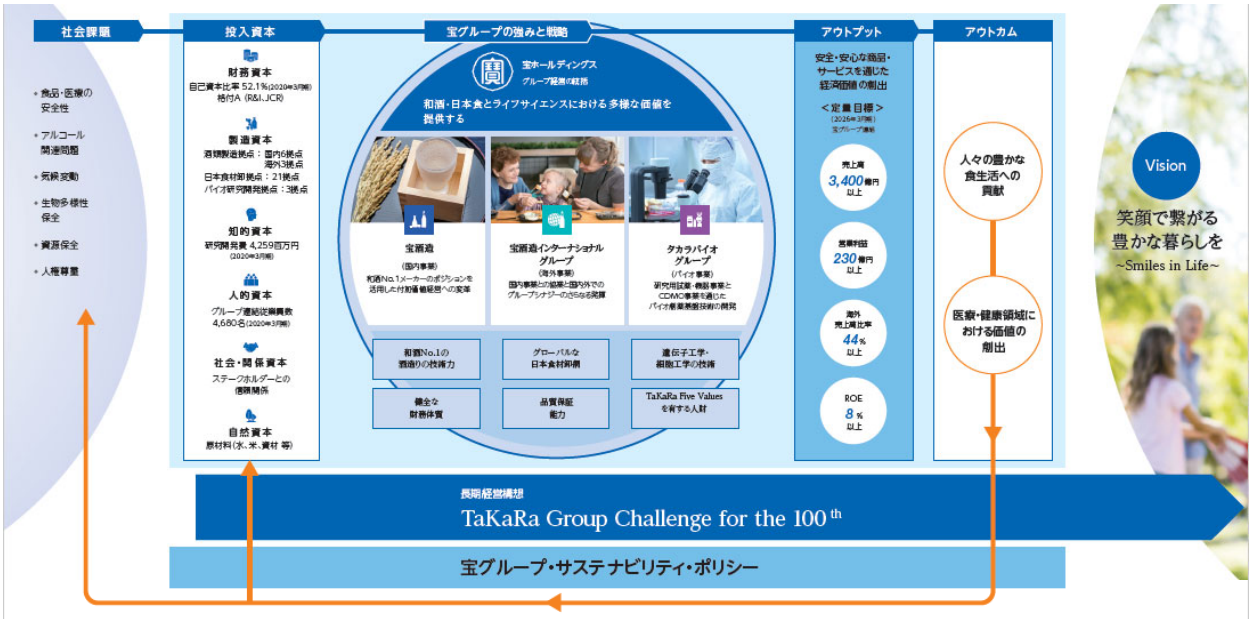
Vision **笑顔で繋がる豊かな暮らしを ～Smiles in Life～**

宝グループは、おいしさを追求する技術と革新的なバイオ技術によって
和酒・日本食とライフサイエンスにおける多様な価値を
安全・安心に提供し続ける企業グループとなることで
人と人の繋がりと笑顔にあふれた健康的で豊かな
日々の暮らしへの貢献を目指します。

企業価値向上に向けて

- ◆ 宝グループ独自のバランスのとれた事業ポートフォリオを活かした社会的価値の創造により持続可能な社会づくりに向けた企業としての責任を果たす。
- ◆ 価値創造プロセスの実践を通じて、Visionの実現と企業価値向上を目指す。

＜宝グループの価値創造プロセス＞



<u>将来見通しに関する注意事項</u>

この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜お問合せ先＞
宝ホールディングス株式会社
財務・ＩＲ部
E-Mail ir@takara.co.jp
TEL 075-241-5124